

燃やすごみ

※最も長い部分(=対角線)の長さが1m以内で、以下の条件を満たすもの。

品目	例	出し方と注意点
生ごみ 	料理くず、貝殻など	●水をよく切る。
紙類 	紙くず、紙おむつ、写真など	●シュレッダーくずなど小さいものは内袋に入れるなど飛散しないようにする。 ●紙おむつは汚物をトイレに流して、燃やすごみに出す。
布類 	綿製品、布切れ、靴下、下着、帽子、ロープ、枕、座布団など	●ロープなど長いものは1m以内に切る。
革製品 	カバン、靴、ゴルフバッグなど	●金具はできるだけ外す(外れなければついたままでも可)。 ●旅行用カバンなど大きなものは、対角線を測って1mを超えるものは粗大ごみに出す。
ゴム、ビニール、プラスチック類 	ポリバケツ、ポリ缶、長靴、CD・ケース、ビデオテープ・ケース、ホース、ビニール袋、おもちゃ、文具、アルバムなど	●ホースなど長いものは1m以内に切る。 ●電池が入っているものは取り出す。
草木 	割り箸、竹串、木片、草、庭木のせん定枝・葉など(1m以内に切る)	●竹串など鋭利なものは紙で包むなどする。 ●草に付いている土はよく落とす。 ●せん定枝は長さ1m以内に切る(幹の直径20cmまで)。
汚れがとれない可燃性資源物 	中身や汚れがとれない紙パック、白色トレイ、ペットボトル、プラスチック製容器包装、新聞紙、雑誌、ダンボール、厚紙、古布など	●液体などごみ袋からこぼれ出るおそれがある中身は、固化剤・専用吸収紙・布などを使う。
その他 	使い捨てカイロ、浄水器のカートリッジ、保冷剤、シップ、花火、ゴルフボールなど	●使い残しの花火など発火するおそれがあるものは十分に湿らせる。

- 引越など多量にごみがでた場合は、宗像清掃工場(P11参照)もしくは、大島一般廃棄物処理場(P12参照)に自己搬入するか、市が許可した収集運搬業者に直接、収集を依頼(P10参照)してください。
- 生ごみはできるだけ堆肥化しましょう。
- 新聞紙、雑誌、ダンボール、紙パック、衣類、毛布、タオルケットなど分別できるものは資源化しましょう。
- プラスチック製の容器・包装、ペットボトル、白色トレイなど分別できるものは資源化しましょう。